



# 作業療法の教育的研究

## 本声明の位置づけ

エビデンスに基づきセオリーを重視した教育は、専門職としての確固たる地位を築く基礎となるものである。現在の作業療法教育では、国を越えて情報交換ができ、各環境に応じた教育ニーズにも対応できる確固たるエビデンスに支えられている<sup>1</sup>。

教育的研究は、将来の作業療法士の育成を支え、人材の開発に貢献し、最新の実践を取り入れ、専門職としての作業療法士の能力を高めるものである。急速に変わる作業療法の現場では、既存の教育実践と新しい教育実践を見直し、知識の創造と共有に取り組み、最良の理論的枠組みと実践的エビデンスに基づいた教育プログラムと人材開発資源を考案することが求められている。

この声明は、作業療法教育と研究に関する WFOT の事業をさらに推進することを目的とする。WFOT 作業療法士教育基準（2016 年）<sup>1</sup>および WFOT 国際作業療法研究優先事項（2016 年）<sup>2</sup>の方針に基づき、教育的研究を進めていく。

## 作業療法に対するこの見解の重要性

作業療法の教育が世界規模で直面している課題に対応し、教育的研究をさらに促進させるためには、国際的な協力が必要である。その中には以下のものが含まれる<sup>2-4</sup>：

- 1) パンデミックなどの混乱期、気候変動、グローバリゼーション、テクノロジーの発展、環境問題、戦争、政治運動などに対応した、革新的で発展的な教育・実践方法の検討；
- 2) 新しい地域への作業療法教育プログラムの拡大と、現在のプログラムにおける学生数増加；
- 3) 作業を中心とした革新的なカリキュラムの必要性；
- 4) ローカル／グローバル及び個人／社会の視点を意識した知識概念の開発；
- 5) 学際的で専門性の高い医療専門職の教育、実践、研究；
- 6) 人口動態の変化（世界規模の人口増加や特定の人々の健康に関するニーズ、移住パターンの変化、職業上の新たな混乱など）；
- 7) 規制の強化、専門能力開発において組織よりも個人の責任拡大、教育の商業化など、説明責任のメカニズムの変化；
- 8) 公平性と多様性、社会への包括、文化の理解、作業的公正に配慮した対差別的アプローチを求める；

## 社会に対するこの見解の重要性

専門職の教育的研究力を向上させることは、作業療法におけるグローバル人材の知識や能力、姿勢、行動を高め、個人やグループ、地域社会、住民に対する作業療法士の社会貢献を良質なものにする<sup>5</sup>。

国際社会およびコミュニティは、良質で効果的な専門教育を受け、変化する複雑な世界で柔軟に対応し、社会的責任を持ち、グローバルな市民として活動できる作業療法士から多くの恩恵を受ける。

世界がより密接になるにつれ、専門分野や国境を越えて、消費者や関係者と知識の創造と共有をすることが、専門職として現在の新しいニーズに応え発展していくことにつながるだろう。さらに、グローバルシチズンシップは作業療法専門職の発展に不可欠であり、作業療法が与える社会的恩恵を受ける個人や集団の健康と安寧への貢献につながる。

## 結論

作業療法における教育的研究の推進は、専門職としての作業療法をさらに発展、強化、サポートする。私たちは、地理的・文化的な地域間の多様性を尊重しつつ、効果的な教育実践や政策に反映できる最先端の理論的枠組み及びエビデンスを生み出し、統合し、交換し、普及させ、評価し、活用する必要がある。

## References

1. World Federation of Occupational Therapists. (WFOT; 2016). *WFOT Minimum Standards for the Education of Occupational Therapists*.  
<https://www.wfot.org/resources/ne-wminimum-standards-for-the-education-of-occupational-therapists-2016-e-copy>.
2. World Federation of Occupational Therapists. (WFOT; 2016). *WFOT International Occupational Therapy Research Priorities*.  
<https://www.wfot.org/resources/wfot-research-priorities>.
3. Hooper, B. (2016). Broadening the scope and impact of occupational therapy education research by merging two research agendas: A new research agenda matrix. *The Open Journal of Occupational Therapy*, 4(3), Article1. <https://doi.org/10.15453/2168-6408.1305>
4. Galheigo, S. (2011). What needs to be done? Occupational therapy responsibilities and challenges regarding human rights. *Australian Occupational Therapy Journal*, 58 (2):60-6
5. Guajardo, A., Kronenberg, F. & Ramugondo, E. (2015). Southern occupational therapies: Emerging identities, epistemologies and practices. *South African Journal of Occupational Therapy*, 45 (1), 3-10.

## Contributors

Aliki Thomas, Canada  
Elizabeth Anne Kinsella, Canada  
Hashem Salman Abu Tariah, Jordan  
Sally Bennett, Australia  
Sandra Bressler, WFOT  
Sandra Galheigo, Brazil  
Jyothi Gupta, USA  
Alison Laver-Fawcett, UK  
Amshuda Sondag, South Africa  
Kayoko Takahashi, Japan  
Tecla Mlambo, WFOT

With the contribution from the Canadian Research on Education Advisory Group of the Association of Canadian Occupational Therapy University Programs (ACOTUP)